

みんなの広場

長崎県立大学の学生が市内各地を視察

地域の課題は現場にあります

公共政策の企画・立案や地域課題の解決に関する研究などに取り組む長崎県立大学地域創造学部の学生 22 人が、市内各地を視察しました。市の現状や課題、観光地や公共施設の特色などについて事前学習をしてきた学生たち。大川内山の窯元や市民図書館などで関係者の生の声を熱心に聞き、意見交換をしながら課題解決のヒントを探りました。



7.10

↑大川内山の窯元で、伊万里焼の製造工程などの説明を受ける学生たち

佐賀大学海洋エネルギー研究センター施設見学会

海の大きなエネルギーを知ってほしい

佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライトで施設見学会がありました。これは、市内外の人々にセンターの研究について知ってもらうために行っているもので、今回で 17 回目。洋上風力発電など 3 つの公開講座や、波力発電の模型を使った発電実演などがあり、科学に興味がある子どもたちなどが大勢訪れました。



7.13

↑海洋温度差発電の模型で発電の仕組みの説明を受ける子どもたち

伊万里合唱団定期演奏会

趣向を凝らした楽しいステージ

市民センターで伊万里合唱団の定期演奏会がありました。今回は、男声、女声、混声による美しいハーモニーの合唱をはじめ、フランス生まれで意外と誰もが知っているメロディーの歌や、『昭和は遠くなりなけり』と題した昭和歌謡のヒットパレードを披露。途中でタイムリーに挿入される寸劇などとも相まって、聴衆を楽しませました。



↑混声合唱『^{からまつ}落葉松』を披露する伊万里合唱団の皆さん

交通安全キャンペーン

くるまはきゅうり（急に）止まれない！

交通事故の防止を図るため、『交通安全街頭キャンペーン』が伊万里ふるさと村でありました。これは、夏の交通安全県民運動の一環として、市交通対策協議会が伊万里警察署と合同で実施したものです。南波多保育園の年長児がドライバーに「安全運転お願いします」と大きな声をかけながら、きゅうりと啓発グッズを手渡しました。



7.10

↑安全運転を呼びかけきゅうりと啓発グッズをドライバーに手渡す園児